



所 管	教育委員会事務局生涯学習課		
担 当	吉村 新悟	問い合わせ	0573-26-2111 (内線 477)
所 管	中山道広重美術館		
担 当	常包 美穂	問い合わせ	0573-20-0522

報 道 機 関 各 位

令和5年度春季特別企画展「幕末明治の浮世絵百年 大江戸の賑わい」の開催について

上記展覧会の開催についてお知らせします。

記

1. 会 期 令和5年4月6日（木曜日）から6月18日（日曜日）
前期：4月6日（木曜日）から5月7日（日曜日）
後期：5月11日（木曜日）から6月18日（日曜日）
開館時間：午前9時30分から午後5時
（入館は午後4時30分まで）
休館日：毎週月曜日（ただし5月1日は除く）、5月8日（月曜日）から10日（水曜日）
2. 場 所 中山道広重美術館（大井町176番地1）展示室1、2
3. 内 容 最新の流行やさまざまな情報を伝える大衆メディアとして江戸庶民の目を楽しませ、長きにわたり愛された浮世絵。西洋文化を受容した幕末以降は、さらに幅広い表現形式による多種多様な画題を展開しています。本展では、色鮮やかに描き出された、幕末から明治の浮世絵をご紹介します。
4. 主 催 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館
5. 監 修 中右 瑛（国際浮世絵学会常任理事）
6. 企画協力 E. M. I. ネットワーク

7. 料 金 一般 820 円 (20 名以上の団体は 660 円)
※18 歳以下無料
※障がい者手帳 (身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳) をお持ちの方と付き添いの方 1 名は無料
※毎週水曜日はフリーウェンズデー、毎週金曜日はフリーフライデー (共に終日観覧無料)
※毎月第 1 日曜日は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料
※リピーター割…本展チケットの半券提示で観覧料割引 (660 円)

8. 図 版



月岡芳年「風俗三十二相 遊歩がしたさう」
錦絵大判 明治 21 年(1888) 中右コレクション

「風俗三十二相」は、幕末から明治にかけて活躍した月岡芳年による美人画シリーズです。

「～さう(そう)」という題名で、さまざまな年齢、階層の女性の様相を描き分けています。本図の副題には「明治年間妻君之風俗」とあり、明治時代の既婚女性を取り上げています。文明開化を象徴する洋装は、優雅に咲く花菖蒲に引けを取らず華やかです。うれしそうに洋傘を携えており、これから散歩へ出かけるところでしょうか。当時、女性の洋装化は上級階級のごく一部に留まっていましたが、浮世絵に描かれることで一般庶民も目にすることができました。

9. 関連イベント

学芸員による作品ガイド

日 時：前期 4 月 16 日 (日曜日)、後期 5 月 21 日 (日曜日)

各日午前 10 時 30 分から 40 分間を予定

場 所：展示室 1、2

令和5年度春季特別企画展「幕末明治の浮世絵百年 大江戸の賑わい」作品リスト

2023/4/6～5/7】

作者	作品名	判型	制作年
歌川広重	東海道五拾三次之内 箱根(保永堂版)	錦絵大判	天保4年(1833)
歌川広重	東海道五拾三次之内 三島(保永堂版)	錦絵大判	天保4年(1833)
葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 箱根 三島	錦絵小判二枚	文化7年(1810)頃
歌川広重	東海道五拾三次之内 原(保永堂版)	錦絵大判	天保4年(1833)
葛飾北斎	諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし	錦絵大判	天保4～5年(1833-34)
昇亭北寿	甲斐国猿橋ノ真写之図	錦絵大判	文化元～文政7年(1804-24)頃
二代歌川広重	諸国名所百景 長崎丸山の景	錦絵大判	安政6年(1859)
歌川広重	江戸名所四季の眺 高輪月の景	錦絵大判三枚続き	弘化4～嘉永5年(1847-52)
歌川国貞	三めくりの夕立	錦絵大判三枚続き	天保14～弘化4年(1843-47)頃
三代歌川豊国	山城井出の玉川	錦絵大判三枚続き	安政元年(1854)
歌川国芳	弥美能有女	錦絵大判三枚続き	弘化4～嘉永5年(1847-52)
歌川豊国	今やう娘七小町 草紙洗小まち	錦絵大判	文化15年(1818)頃
歌川国安	無題(齒磨図)	錦絵大判	文化中期～天保3年(1810-32)頃
歌川国貞	絵兄弟忠臣蔵 六段目	錦絵大判	文政10年(1827)頃
歌川国芳	山海目出たい図会 くせが直したい	錦絵大判	嘉永5年(1852)
三代歌川豊国 歌川広重	風流源氏 雪の眺	錦絵大判三枚続き	嘉永6年(1853)
三代歌川豊国 二代歌川広重	合筆源氏 庭中之雪	錦絵大判三枚続き	安政6年(1859)
二代歌川国貞	紫式部げんじかるた三十六 かしわ木	錦絵大判	安政4年(1857)
歌川豊国	尾上松助 尾上栄三郎	錦絵大判	文化5年(1808)頃
三代歌川豊国	安達多九郎 小幡小平治 小平次女房おつう	錦絵大判三枚続き	安政6年(1859)頃
歌川国芳	東海道五十三対 桑名 船のり徳蔵の伝	錦絵大判	弘化元～4年(1844-47)
歌川国芳	小倉擬百人一首 四十九 大中臣能宣朝臣	錦絵大判	弘化3年(1846)頃
勝川春亭	無題(源頼光酒呑童子退治之図)	錦絵大判三枚続き	寛政11～文政3年(1799-1820)頃
歌川国芳	坂東三津五郎 尾上菊五郎 関三十郎	錦絵大判三枚続き	天保4年(1833)
歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛作妖怪図	錦絵大判三枚続き	天保14年(1843)
三代歌川豊国	愛妾胡蝶 侍女於古テ 成嶋大領	錦絵大判三枚続き	嘉永6年(1853)
歌川国芳	鷺ノ尾三郎	錦絵大判	不詳
月岡芳年	羅城門渡邊綱鬼腕斬之図	錦絵大判縦二枚続き	明治21年(1888)
歌川国貞	当世美女吾妻風景 浅草寺の年の市	錦絵大判	文政6年(1823)
歌川国芳	御奥の弾初	錦絵大判三枚続き	嘉永2～4年(1849-51)頃
歌川国貞	俳優見立夏商人	錦絵大判	天保14年(1843)
歌川国貞	河津三郎祐安 海老名源八弘綱 俣野五郎景久	錦絵大判三枚続き	文政10年(1827)頃
三代歌川豊国	生月鯨太左工門	錦絵大判	天保15年(1844)頃
三代歌川豊国	荒熊力之助	錦絵大判	不詳

二代歌川国輝	姫路高砂浦五郎	錦絵大判	明治4年(1871)頃
二代歌川国輝	勸進大相撲土俵入之図	錦絵大判三枚続き	慶応2年(1866)頃
三代歌川豊国	盗賊大蛇丸 嵐吉三郎	錦絵大判	万延元年(1860)
歌川国芳	耀武八景 五條秋月 牛若丸	錦絵大判	嘉永5年(1852)
歌川国芳	弁慶が勇力戯に三井寺の梵鐘を叡山へ引揚る図	錦絵大判三枚続き	弘化3年(1846)頃
歌川芳虎	那須與市宗高 武蔵坊弁慶 伊豫守	錦絵大判三枚続き	不詳
歌川貞秀	巖流島仇討之図	錦絵大判三枚続き	慶応元年(1865)
歌川豊宣	新撰太閤記 織田信長 木下藤吉郎	錦絵大判二枚続き	明治16年(1883)
楊斎延一	正成正行桜井宿二別ヲ告ル図	錦絵大判三枚続き	明治25年(1892)
葛飾北斎	文屋康秀	錦絵大判	文化7年(1810)頃
松葉楼関斎	ふんだんだるまづ画	錦絵大判	嘉永(1848-54)頃
歌川国麿	火性の人うけに入	錦絵大判	嘉永5年(1852)
歌川広重	当ル卯ノ二月十日有卦入	錦絵大判	安政2年(1855)
歌川芳藤	八月八日木性の人卦入るなり	錦絵大判	嘉永2年(1849)頃
作者不明	模写図 歌川国芳「みかけはこわいがとんだいゝ人だ」	錦絵大判	明治24年(1891)
作者不明	模写図 歌川国芳「人をばかにした人だ」	錦絵大判	明治24年(1891)
作者不明	無題(江戸鯨と信州鯨)	錦絵大判二枚続き	安政2年(1855)
作者不明	無題(安政江戸地震図)	錦絵大判二枚続き	安政2年(1855)
作者不明	無題(黒船図)	錦絵大判	嘉永6年(1853)頃
作者不明	北アメリカ副将使節真像	錦絵中判	嘉永7年(1854)頃
二代歌川広重	亜墨利加賑之図	錦絵大判三枚続き	文久元年(1861)
歌川貞秀	横浜交易西洋人荷物運送之図	錦絵大判五枚続き	文久元年(1861)
歌川芳幾	写真鏡 美人図	錦絵大判	文久元年(1861)
歌川芳豊	アメリカ人コドモチョウアイノヅ	錦絵大判	文久元年(1861)
三代歌川広重	東京築地ホテル館	錦絵大判三枚続き	明治3年(1870)
歌川芳年	東京名勝高輪蒸気車鉄道之全図	錦絵大判三枚続き	明治4年(1871)
三代歌川広重	横浜往返蒸気車全図	錦絵大判三枚続き	明治5年(1872)
小林清親	海運橋 第一銀行雪中	木版画	明治9年(1876)
小林清親	東京小梅曳船夜図	木版画	明治9年(1876)
小林清親	東京両国百本杭暁之図	木版画	明治12年(1879)
井上安治	浅草橋夕景	木版画	明治13年(1880)
月岡芳年	風俗三十二相 遊歩がしたさう 明治年間妻君之風俗	錦絵大判	明治21年(1888)
楊洲周延	梅園唱歌図	錦絵大判三枚続き	明治20年(1887)
楊洲周延	雪中二梅莊群児遊戯図	錦絵大判三枚続き	明治20年(1887)
井上探景	共楽泰平貴顕図	錦絵大判三枚続き	明治20年(1887)
楊洲周延	幻燈写心競 女史演説	錦絵大判	明治23年(1890)

計70点